

平成28年度湘南台高校第30回卒業式式辞

ただいま卒業生275名に卒業証書を授与いたしました。275名の卒業生の皆さん、ご卒業まことに
おめでとうございます。

冬の寒さも峠を越え、朝夕の寒さの中にも春の兆しを感じられるようになりました。明後日、3月3日
はひな祭り、桃の節句です。今週の日曜日、3月5日は啓蟄といって、春の暖かさを感じて冬籠りしてい
た虫が這い出てくる頃とされています。確実に本格的な春が近づいていることを感じさせてくれます。引
地川沿いの桜のつぼみもころなしか少しふっくらと膨らんできたように見えます。その膨らみこそが、
春の予兆であり、期待でもあると思います。それはまさしく花開く将来、未来への期待と言ってもいいも
のだと思います。

本日、ご多用中にも関わらず、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜りましたうえ、保護者の皆様にも多数
ご列席いただき、ここに神奈川県立湘南台高等学校第30回卒業式をこのように盛大に挙行できますこと
は、まことに喜ばしく存じます。学校を代表いたしまして、ご臨席いただきました皆様に心より厚く御礼
申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん、皆さんは本日、この学校からそれぞれの人生に向かって巣立っていきます。人
生の中で大きな節目の時です。湘南台高校で学んだことを糧にして、強く、逞しく自分の人生を歩んでい
ってください。

湘南台高校はシチズンシップ教育の推進校です。今では、テレビ局や新聞が取材に来て、今年度だけで
も何度もその教育内容が紹介されるようになりました。そのせいもあり、全国の高校や教育委員会が毎月
のように視察に来ています。卒業生の皆さんは3年間、全国的にも注目されている本校でシチズンシップ
教育を受けてきました。本校のシチズンシップ教育は「18歳の段階で身に付けておくべき力は何か」と
いうテーマのもと、良き社会人として必要な様々な知識・技能・態度を身に付けるよう学習し、卒業時
には「大人の構え」を身に付けさせることを目標にしています。皆さんに「大人の構え」は身に付いたでし
ょうか。人によって温度差はあると思いますが、少なくともその基礎は身に付いていると思います。皆
さんは意識していないと思いますが、それは他の学校ではなかなかやっていないことなのです。皆さんには
湘南台高校でシチズンシップ教育を受けたことにプライドを持ち、より良き社会人として社会で活躍して
ほしいと願っています。

校歌も作詞した初代校長の平塚禅定元校長が、今年度の文化祭を見に来られて、皆さんの活動の様子や
生徒のあいさつに大層喜んで帰られたことは、2学期の終業式で皆さんにお話しました。地域の様々な会
議に出ても、地域の方々から文化祭行きましたよ、良かったですよ、とか、湘南台の生徒がこんなにいい
ことしてくれましたよ、とかお話をいただくことがあります。皆さんはいろいろなところで、いろいろな
人々に注目されているんだということを忘れないでください。そして良い行いをして、良い社会人になっ
て社会貢献すれば、喜んでくれる人がたくさんいるということも忘れないでください。

最後に卒業生の皆さんに私から、「夢は大空へ、努力は足元に」という言葉を送ります。これは元プロ
野球選手の松井秀樹さんのお父様の言葉だと聞いています。「夢は大空へ、努力は足元に。」大空にでっ
かい夢を掲げ、まっすぐに前を見てこれからの人生を歩んでいってほしいと思っています。けれど、夢は
見ているだけではただの夢のままです。夢を現実のものにするためには日々のたゆまぬ努力が必要です。
まさに「努力は足元に」です。卒業生の皆さんには、湘南台高校での学びの先に大きな夢を抱き、努力を
重ねて、それを実現していってほしいと心から願っています。

さて、卒業生の皆さん、教室や体育館やグラウンド、この校舎の中には皆さんの思い出がぎっしりつま
まっています。また、文化祭や体育祭、遠足、修学旅行、球技大会等の学校行事や部活動の思い出はかけが
えの無いものです。湘南台高校は皆さんが人生に船出していく出発点であり、青春時代の原点です。荒波
を乗り越えながらも自分の目指すところに向かって力強く進んでいってください。そして、時には戻って
きて後輩を励ましてほしいと思っています。卒業生の皆さんのこれからの人生に幸多からんことを願って
私からの式辞とさせていただきます。卒業生の皆さん、保護者の皆様、本日はまことにおめでとうござい
ます。